社說

朝鮮沿海の漁業

朝鮮由來富源に乏しからず彼國の諺に云へる如く所謂寶床の上に安眠するものにして多年の慣眠遂に其性を成して毫も進取の志氣を見ず即ち實利擧らず貧弱を極むる所以にして玉を懷て飢に叫ぶとは彼の人民の實際なり左れば其富源は他國人の力を待て開發の端緒を啓くの外なきは從來の經驗に徴しても明白なる次第なれば今その富貨を殖り併せて我貿易の進捗を圖する爲めには鐵道敷設礦山採掘土地所有等の諸權利を得て日本人を續々其內地に入り込ましめ彼等の眼前に於て種々の殖產事業を經營して以て其頑冥を開かしむ可し是れぞ自利利他の最上策にして我輩の每度勸告する所なれども爰に彼の國の殖產業にして既に彼我兩國の利益を增進して年々隆盛に趣き尙ほ幾分の改良保護を加ふるに於ては前途更らに幾倍の利益を見る可きものあり即ち朝鮮沿海に於ける漁業是れなり

朝鮮の海岸線一千七百餘哩臺灣海峽より來る熱潮と黑龍江より來る寒流とを其向背に受くる爲め各種の魚介類に富むと雖も彼の人民は古來獸肉を尊重して魚介を食用に供するを少なく隨て漁業の術も頗る幼稚たるを免れざれども彼等が儀式に用ふる明太魚のみにても一年の需用高凡そ二百萬圓を下らずと云へば漁業の利益決して侮るべからざるなり抑も我國が明治十六年朝鮮と通漁規約を結び全羅慶尙江原咸鏡四道の沿海に通漁するの權を得し以來廣嶋山口大分岡山香川長崎等各縣の漁夫は續々彼の沿海に入込み目下漁船の數三千の多きに達する其漁船は鱶縄釣鯛縄釣鯛網打タセ網、鰮網及び潛水器械船等にて大抵は全羅道慶尙道の沿海に出沒するものなるが此他彼國の免許を得ずして遠く朝鮮海上に在るもの頗る多く總體を合すれば五六千艘以上に及ぶならんと云ふ是等の漁船の收益は調査するに由なきも免許を得たる漁船のみにて概算を立つれば凡そ三百萬圓に達す可く之に無免許船の收益を合算すれば凡そ五百萬圓前後ならんとは其道に委しき人の語る處なり斯くの如き巨額の利益を朝鮮海の一角に於て然かも今日の如き不便極まる規約の下に收め得るとせば若しも之を保護獎勵して各道の沿海に通漁せしめ捕鯨なり明太魚なり若しくは鮭、鰮、鯖等に從事せしむれば今日に倍蓰するの利益を收むること必然なる可し而して其獎勵の方法に種々の手段ある可けれども我輩は差當り彼國の沿岸に我漁夫の住居することを許し以て介[illegible]の[illegible]を自由にせしむることを望むもの[illegible]に據て[illegible]彼の沿海に於[illegible]困難[illegible]捕獲の不充分な[illegible]非ずして捕獲したる魚介を始末するの道なきに在り一例を擧ぐれば鯖の如きは濟州嶋附近に於て夥しく捕獲し得るも之を陸上に揚げて始末すること能はず左りとて之を釜山若しくは長崎に運搬するには極めて多くの日子を費やすを以て彼等は唯最も高價なる鯖のみを取りて其他は悉く海中に委棄するの常なりと云ふ左れば若しも沿岸に住居するの自由を得んには鮮肉を韓人に販賣するも可なり又之れを乾燥鹽藏するも不可なけれども如何せん今日の通漁規約の下に在りては之を委棄する外又道なきなり又全羅道沿海に於ける鯛漁の如き多きは一日萬を以て數ふる程の漁獲あるにも拘はらず之を處置するの便頗る窮屈なる爲め徒に韓人の乘ぜらるゝ處となり遂に踏み倒されて見切賣を爲さゞる可らざるに至り重量五六百匁位の鯛にして一尾一錢乃至一錢五六厘は普通相場なりと云ふ彼の京城市中に於て尺以上の鯛十錢乃至十四五錢前後にて得らるゝ所以は之が爲めなりとぞ然るに彼の沿岸に住居の自由を得るときは之を乾燥若しくは鹽藏して隨て之を販賣するに幾多の餘裕を存するを以て徒に彼等に踏み倒さるゝの弊なきに至る可し或は韓國の內地にて販賣することと能はざらんか遠く我國迄輸送し來るも強ち不引合に非ず其他鰊、鰮、海參及び各種の魚介類中適當に乾燥鹽藏等の處分を施すに於ては遠く之を販賣するの途も開けて自から利益を增進するに至る可く且つ從來是等の漁夫が食料を得るには一旦歸國するか又は釜山等に赴かざる可らず斯くては時間を爭ふ漁期に於て徒に日を曠らし收益を減ずること尠からず沿岸住居の自由は是等の不便と損失とを免かれて利益を增進すること疑ひある可らず政府は速に韓廷に向て此事を交涉し以て漁業の發達を謀る可きものなり尙ほ此序に殘りの四道即ち忠淸、京畿、黃海、平安の沿海漁業及び住居權をも享有せんことを併せて申込む可し是等の各道中忠淸道を除くの外は通漁上敢て有望なる地には非ざるも出漁の都合により是等の沿海に立寄りて販賣若しくは乾燥鹽藏等を施すこと却て便利を感ずることあればなり

○次官局長の任命

豫報の如く愈々昨日を以て左の通り任命ありたり

大藏省監督局長　添田壽一
任大藏次官（叙高等官二等）
箕浦勝人
任遞信次官（同上）
山田喜之助
任司法次官（同上）
柏田盛文
任文部次官（同上）
柴四朗
任農商務次官（同上）
佐々木正藏
任農商務省山林局長兼參事官（同上）

依願免本官大藏次官法學博士男爵　田尻稻次郎
同　司法次官　高木豐三
同　文部次官　小山健三
同　農商務次官　藤田四郎
同　遞信次官　田健次郎
同　農商務省山林局長　渡邊融
東京帝國大學法科大學教授兼農商務省參事官　岡野敬次郎
依願免兼官

○大藏次官の事務引繼

田尻前大藏次官は昨日午前後任者たる添田壽一氏に事務引繼をなしたる上大藏省各局長及高等官を集めて左の如き告別の辭を述べたり

添田氏が私の後任者となられたるは至極滿足する所なり何卒これまで通りに同氏を助け一致協同して依然職務に忠實に大藏省の事務が益々完成することに盡力せられんことを望む又今日まで永らくの間種々なる財政上の事項につき諸君を煩し幾分か國家財政の基礎を確立するを得たるは深く謝する所なり

右終て添田氏は左の如く挨拶したりと云ふ

國庫即ち大藏省務の如き一種特別なる所ある事務は政變の爲め有害なる動搖を蒙らしめたくなきものと考へ現に兩三日前までも殊に現任田尻次官の如き有力なる方の留任を希望し種々畫策せしも行はれず突然意外にも私に後任引受方內諭ありたり是れ蓋し全く大藏省務の幾分他と異なる所あることの認定せられたるにも由るならん省中先輩諸君に對し且つ私情に於ては忍びざりしも熟ら考へ見るに今日は實に憲政の運行上容易ならざる時節なるのみならず戰後財政の結果も未だ完了に到らざるの際なれば私情に依て決すべきにあらずして寧ろ一身を犧牲に供しても君國の爲め盡すべき秋なりと認めたるより終に斷然承諾せり然れども本邦目下財政經濟兩ながら變態にあり之を整理するは非常の識力を要するは諸君の御承知の如し然るに私は鈍才淺識今日までは自家の意見を行ふよりは寧ろ所謂政務練習の時期にありし位なれば到底完全に任務を盡し得るや否やは疑はしきも唯諸君が私の今日地位を御諒察ありて舊に依り充分に御盡力御助勢を大藏省の爲めに公けの爲めに切に願ひ置きます

○地方官會議の開會

豫期の如く同會議は昨日午前九時より內務省に於て開會したり出席者は中山佐賀、田邊三重、千家靜岡三縣知事及び安場北海道廳長官を除き又岡部東京府知事は阪本書記官を代理として他の各府縣知事一同にして席定まるや軈て十時三十分に至り大隈總理大臣は板垣內務大臣と共に鈴木次官、荒川縣治、小倉警保、久米社寺、長谷川衛生の各局長并に大石、齋藤、水野、井上の各秘書官を隨へて臨場し板垣內務は先づ起て新任の挨拶及び開會の辭を述べ大隈總理を一同に紹介せり此に於て大隈伯は同じく新任の挨拶を述べ次に大要左の如き演說を爲したり

今回の內閣更迭は之を從來の更迭に比すれば大に其趣きを異にするものあり即ち從來は如何なる政變如何なる更迭あるも內閣は閣臣たると同時に政黨員たる事を許さゞりしに今回は之に反して內閣は純然たる政黨員を以て組織したるを以て此際或は世人の疑惑を惹起すこともあらんかなれども時勢の進步は政黨內閣の組織を促がして遂に今日に至らしめたることなれば上下一致以て國務を燮理せんには此內閣は將來最も多望なるべし而して政黨內閣たる以上は政務官は同志の政黨員より擧げて共に政務に當るの必要あるを以て今回更迭を行ひたれども事務官は全く之と趣を異にし兩者の間に責務を區別すべき者なるを以て地方官を始め事務官にして苟も上官の命を奉ぜず政務の妨げを爲さず而して事務の澁滯なき以上は漫に更迭を行はざる可し又衆議院議員選擧は立憲政體の骨髓にして最も重大なる事柄なるを以て政府は公平なる方法を採用して充分の取締を爲す方針なり尙ほ縣治上に關しては世の進步に伴ひ事務の擴張を來すと共に經費の增加を要するは事情止を得ざる處なれども一方に才能ある者を擧げて老朽其他の冗員を淘汰せば行政機關をして敏活ならしむを得べし且つ繁文縟禮を省くは刻下の急要と認むるを以て着々實行する考へなれば之に依りて又官吏を減じ冗費を省くことも得べしと信ず以上は重大の事柄なれば其詳細に就ては內務大臣充分と協議を遂げ國家の爲に盡力せられんことを希望す

次に板垣內務大臣一場の演說を爲せり其要旨左の如し

今回內閣組織に付き其政務官は政黨內閣の趣旨に依りて黨員を任用する筈なれども事務官は之と責務を同うせざるを以て苟も政務官の命令を遵守せず又政務の妨害を爲さ

ず不能の官
さゞる方針
に係るもの
臨時總選擧
の總選擧の
少かりしが
多かりしは
り其原因に
行政官の怠
下し得ざれ
於て力めて
充分に取締
取締法を立
君に於て充
夫より引續き
說を爲せり
衛生事務は
有し之が改
と雖も目下
疾病務なり
蔓延し遂に
內には赤痢
刺に痘瘡に
官に國家の
なりとす
一傳染病
するを以て
者の發生す
るに先ち之
ざるべから
一傳染病
に止まらず
を國家に及
勞働者に在
生ずる所に
の饑否如何
は勞働者即
貧民部落に
の富源を涸
一ペスト
一領地臺灣に
直ちに船舶
るを以て患
海港に扼し
の病毒に汚
疫の一事の
之が病毒の
を以て常に
法を施行し
之に備へざ
一異性虎
發生したり
る外國船に
を出せり何
するや計
し時々警戒
一赤痢は
ひ九州中國
北に侵入せ
人死亡者二
に侵入した
六十餘萬圓
るべけんや
なりとす今
れば直ちに
消毒を勵行
先て之を撲
一昨年に於
千九百四十
人の多數に

福翁百話

第九版

全一册紙數凡四百頁

正價　上製　一圓（郵稅十錢）　並製　三拾五錢（郵稅六錢）

上製（用紙舶來上等紙背皮金字入美本）福澤先生肖像（卅五年前と最近の分）二葉入

上製並製とも福澤先生自筆題詩（竪一尺三寸橫六寸）寫眞石版入

本書は福澤先生が多年心を籠めし著述にして一字一句他人の筆を交へず宇宙の玄妙より居家處世の心得に至るまで諄々說去り說來りて餘蘊なく文章は先生獨得の平易明快何人にも分り易く一讀再讀益々妙味を覺ゆ昨年七月初版發兌以來非常の好況を以て賣切れ今回第九版を發兌す何人も一本を座右に備へ日夕之を繙かば大に得る所あるべし

發行所　東京京橋區南鍋町二丁目十二番地　時事新報社　電話（[illegible]本局一四九番）（[illegible]本局二二七番）

大取次　大阪北區堂嶋濱通一丁目四十番地　時事新報社出張所　電話（四九二番）

●全國各地時事新報賣捌所及び書林に於ても賣捌可申候